

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷中学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自らがICTの適切な使い方を学び、効果的に使うことができる。</li> <li>自分に合った学習方法で、主体的に粘り強く学習に取り組むことができる。</li> <li>チャレンジスクールや学習サポート機関を活用するなど、地域と連携した学習活動を利用することができる。</li> </ul>
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度に応じたプリントを準備する等、個別最適な学びの実現に努める。【毎日】</li> <li>理数科目の支援強化を旨とし、スクールアシスタントが授業に入り、個別指導等のサポートをする。【毎日】</li> <li>テスト前に学習会や質問会を実施する【定期テストごとに実施】</li> <li>ドリルパーブやスタディサプリなどを活用する機会を増やしていく。また、必要に応じて、紙との併用を行う。【長期休業期間中】</li> </ul>

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<p>1 結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>2 詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>3 分析共有(児童生徒の実態把握)</p>
	↓	
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	<p>調査の振り返り(4月)</p> <p>調査問題の解説</p> <p>調査問題の振り返り(4月)</p> <p>調査問題の振り返り(4月)</p>	
結果から考えられる 児童生徒の実態	<p>1 学校全体での取組</p> <p>2 単元テスト・定期テスト等の分析・活用</p> <p>3 調査問題を活用した授業</p>	

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	<p>さいたま市学習状況調査(5月)</p> <p>&lt;小1～中3&gt;(11～12月)</p>	
結果から考えられる 児童生徒の実態	<p>1 学校全体での取組</p> <p>2 単元テスト・定期テスト等の分析・活用</p> <p>3 中間評価を経た取組</p> <p>4 調査結果を活用した授業</p>	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<p>学力向上策の実態把握</p> <p>職員研修等</p>
学力向上策の 見直し	<p>中間評価(9月)</p> <p>課題・策の見直し</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)